

くわがたむし



ぼくは虫が大好きです。毎年、夏やすみにはおじいちゃんの家に行って、虫とりをします。虫の体がどうなっているのか、こまかいところはどうなっているのかを知りたくて、紙で虫を作ってみたいと思いました。

手順 ①



工作のじゅんびをする

こまかいところがたくさんあるので、ピンセットととがっているもの、ボンドをよういする。どがっているものは、つまようじでもOK。

手順 ②



せつめいしょをよくよんで、きりぬく

せつめいしょをよくよんで、山おりと谷おりをみておく。つくえのかどで紙をすこし丸くしておく。

手順 ③



くみたてて、かんせい！

ボンドとピンセットをつかってくみたてていく。りったいにするところはむずかしいから、ちゅういする。



一番大変だったところ



紙をひっぱって、こまかくボンドではりつけて、丸くしていくところがとてもむずかしかったです。

ボンドもなかなかかわかないので、ずっとおさえていなければなりませんでした。

工夫したところ

つくえのはしをつかって、紙を丸くしました。うまくボンドがつかなくて、白いぶぶんがみえてしまっているところがあったので、ちゃ色のマジックでぬって、きれいにしました。



用意したもの

- ペーパークラフトブック
- 木工用ボンド
- ボンドを出しておく紙きれ
- ピンセット
- さきがとがっているもの
- お父さん
わからないところをきく



わかったこと

くわがたむしは体が2つでできていることがわかりました。足が6本あることはしっていたけれど、2本が上の体から、のこりの4本が下の体からでていることがわかりました。また、むいているほうこうも2本は上にむいていて、4本は下のほうみむいていました。

カブトムシもせみも、バッタも、ゴキブリもおなじなのか、つぎはしらべてみたいです。